

教科	公民	科目名	現代社会	単位数	2
学科	全学科	学年	2 学年	履修区分	必修
使用教科書	最新現代社会 実教出版				
副教材など	最新図説 現社(浜島書店) 高校社会のまとめ(中部日本教育文化会)				

## 1. 科目の目的

人間の尊厳と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深め、現代社会の基本的な良識ある公民として必要な能力と態度の育成を目的とします。

具体的には、現代社会の諸問題を取り上げ、課題を設けて倫理、社会、文化、政治、経済などさまざまな観点から追究し、その過程で行う調査・分析を通して学び方を習得します。そして社会的事象を総合的にとらえようとする態度を育成し、自己の在り方生き方を主体的に考えることの大切さを学ぶ学習を行います。また現代社会を多様な角度からとらえ、青年、経済人、主権者、国際社会における日本人など様々な立場から人間としての在り方生き方を考えることができるようになります。

## 2. 授業の内容と進め方

公民科の科目は、現実の現代社会の諸問題をターゲットに課題設定を行います。そのために、時々刻々と移り変わる社会事象の動きを的確に捉えた授業内容になります。個々の授業においては当然教科書、資料集が中心となりますが、興味・関心のある出来事とそれについてのコメントを発表してもらうことがあります。また、課題追求学習やディベートなども取り入れた学習も行います。そのため日々のニュースに興味・関心を持ち、総合的な観点から理解するとともに自分の意見を持つことが必要になります。個々ばらばらの単なる知識として覚えるのではなく、今の社会の動きに即応した授業の進め方となります。

## 3. 学習する上での留意点

科目の目的を達成するために、常に世の中の動きに関心を持つことが大切です。そして自分だったらこの出来事に対してこう考える、という自分の意見をはっきり言える様にして下さい。そのためにはいろいろな人と世の中の情勢について、コミュニケーション能力を身に付けることに留意して下さい。

## 4. 課題等について

- 1) 新聞・ニュースなどで興味のある出来事を挙げコメントを作成、発表、提出。(1時間の授業で一人程度)。
- 2) 各単元においての小テストを行い、内容理解度のチェックを行います。理解されていれば合格。理解不足であれば補習等を行います。
- 3) 課題追求学習については、レポートや報告書の作成、ディベートを実施します。

## 5. 成績評価規準(評価の観点及び趣旨)

評価の観点	評価規準
関心・意欲・態度	①現代社会の基本的な問題と人間に係わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求している。②社会的事象を総合的に考えようとする態度と、民主的・平和的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけている。③現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。
思考・判断・表現	①社会的事象の本質や、人間としての在り方生き方について広い視野に立って、多面的・多角的に考察している。②社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。
資料活用の技能	①現代社会に係わる有用な諸資料を様々なメディアから主体的に選択し活用して学び方を身につける。②資料を活用し、追求し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現する。
知識・理解	現代社会の基本的な問題と人間としての在り方生き方にかかわる事柄や学び方を理解し、その知識を身につけている。

## 6. 評価の方法

評価については定期考査・校内実力テストでの成績や課題の提出状況を平常点として加えて、総合的に判断します。

- 1) 定期考査(授業計画にある通り1年間に4回実施される)の結果をもとに学習の内容の理解度、定着度を判断します。
- 2) 校内実力テスト(定期考査を補完する意味で、長期休業あけに行います)
- 3) 授業への取り組み(発表・学習活動への意欲・出席状況)など学習への態度、意欲を評価します。
- 4) 授業時のノート、課題を提出させて整理の状況を評価します。

《指導計画》 科目名 現代社会

2 学年

2 単位

学期	月	学習内容 (単元・考査等)	学習のねらい	評価方法等
一 学 期	4	第1部 わたしたちの生きる社会	現代社会における諸問題を理解するに当たって、必要な知識を身につけ、まずはその原因を把握する。次にどの影響について理解し、今後の対応策について考えさせる。これらの作業を通じ、問題発見、原因追及、問題解決の方法論を習得させる。  自己形成の課題について考え、自分の生き方について	発表評価 行動観察 課題提出  行動観察 課題提出 質疑応答  期末考査 行動観察 課題提出 質疑応答
	5	①地球環境問題 ②資源・エネルギー問題 ③生命科学と情報技術の課題		
	6	第2部 現代の社会と人間 1. 青年期と自己の形成 ①自分らしく生きる		
	7	②人間としてよく生きる ③日本人としての自覚		
	9	2. 現代の民主政治と日本国憲法 ①現代国家と民主政治 ②日本国憲法の基本的性格 ③日本の政治機構と政治参加		
	10	①現代の経済社会 ②日本経済の特質と国民生活		
	11	3. 現代の経済社会と国民生活 ①現代の経済社会 ②日本経済の特質と国民生活		
二 学 期	12	4. 国際社会と人類の課題 ①国際政治の動向	民主政治の基本原則について理解し、法の支配と法の意義をについて考える。また、民主主義のしくみと課題について学び、世界の主な政治制度を比較しながら、日本の誠意政治との問題について考える。 日本国憲法の成立経緯について理解し、その基本原則である基本的人権(自由権・平等権・社会権など)について認識し、公共の福祉との関わりを理解する。また、平和主義の尊さを理解すると共に、今日の防衛問題について認識する。 日本の政治機構を理解し、立法・行政・司法のそれぞれの役割を把握する。また、地方自治と住民福祉の関わりを認識し、政党政治と選挙制度のありかたについて理解し、政治参加の重要性を把握する。  世界の主要国の政治や経済の動向に触れ、国家主権・領域の意義を理解し、国際政治の動きを把握し、第二次世界大戦後の国際経済の動きを把握する。そして、国際平和や国際協力の必要性や国際組織の役割について認識し、国際社会における日本の果たすべき役割と日本人の生き方について考える。	実力テスト 中間考査 行動観察 課題提出 質疑応答  期末考査 行動観察 課題提出 質疑応答
	1	②国際政治の動向		
	2	③国際経済の動向と国際協力		
三 学 期	3	④国際経済の動向と国際協力		期末考査 行動観察 課題提出 質疑応答